

## 日本コミュニティ心理学会第8回大会ラウンドテーブル・パネルディスカッション

7月3日 日曜日 午前10時半 - 12時 7.202室

### 日本のコミュニティ心理学の国際化にむけて

1965年に米国・ボストン郊外スワンズスコットで誕生したコミュニティ心理学と、ほぼ同時に出発した日本のコミュニティ心理学も、今回で第8回大会を迎えることになった。以来、急速な情報化と国際化の中で、コミュニティ心理学のグローバル化ということで、国際交流も盛んになり、本年度開催される米国・コミュニティ心理学会のテーマも「国際的視座からみるコミュニティ心理学」とされている。

このパネルディスカッションは、日本コミュニティ心理学会、国際交流委員会による主催で、聴衆も参加できる形式をとる。前半では、パネリストによるグローバル化にむけた枠組み及びこれまでの国際交流とのかかわりを討論し、さらに今後の日本コミュニティ心理学会のグローバル化に向けた方向性を探る。後半では、指定討論者からのコメントを受け、パネリストと聴衆との対話を中心に、個人会員及び学会としてのこれからの具体的な活動への示唆や質問を共有し、グローバル化に向けての実施可能な方策を考えていくことを目的とする。

#### パネリスト

- |       |                     |
|-------|---------------------|
| 笹尾敏明  | (兼司会、国際基督教大学)       |
| 安田節之  | (早稲田大学・ペンシルベニア州立大学) |
| 井上孝代  | (明治学院大学)            |
| 伊藤武彦  | (和光大学)              |
| 伊藤亜矢子 | (お茶の水女子大学)          |
| 箕口雅博  | (立教大学)              |

#### 指定討論者

- |      |                    |
|------|--------------------|
| 星野 命 | (北陸大学・国際基督教大学名誉教授) |
|------|--------------------|